

## 第 185 回 東葛しぜん観察会

### 夏の自然たんけんラリー

榎田 廣子（松戸市）

日 時：2023 年 7 月 22 日（土）13～15 時 天気：晴れ

場 所：21 世紀の森と広場 みどりの里（松戸市）

参加者：43 名（内 子ども 27 名）指導員 13 名、担当指導員：藤田、草野、榎田

指導員：勝股、勝田、渋谷、野坂、林、平田、廣川、三嶋、三角、山口、

暑さ厳しい日でしたが、木陰では時折涼しい風が吹く夏らしい日に開催することができました。自然たんけんラリーは、受付でたんけんカード・鉛筆・虫メガネを渡し、園内の 6 ヶ所のポイントを指導員と一緒に回るスタイル、それぞれのポイントで観察・あそび・実験ができ、五感を使った観察ができるように工夫をしました。16 家族の親子連れで 順次指導員と 4～8 名ずつの出発でした。

「虫のきもち」ではブルーサルビアの虫を呼ぶ仕組みを説明し、クマバチが蜜を吸う姿を観察しました。はじめはおっかなびっくりだった子どもたちも、おとなしいハチだから静かに見れば大丈夫だよ、と説明すると静かに息を殺して見ている姿がかわいらしかったです。「オオバコのスジだしきょうそうとオオバコ相撲」では親子でわいわいと盛り上がり、昔ながらの遊びの面白さを再確認しました。「単純だけど、面白い」、テレビゲームには無い魅力です。「においたんけん」では、クサギの名前を伏せて匂いをかぎ、名前の予想をしました。大人も子どもも真剣に鼻をくくん。ポテトチップ・コンソメスープ・ゴマドレッシングなどなど、皆さん自由に表現してくれました。「虫をさがそう」では子どもはもちろん大人も真剣に虫採り。子どもたちは捕まえた虫の名前を覚えてもらうことがとても嬉しそうでした。「わかると嬉しい」という気持ちが感じられて、見ているこちらも嬉しかったです。「クイズ」では田んぼを見ながら、ここに植えられているのは何？というクイズ。田んぼや稲を知らない子どもが少なからずいるということから、紙芝居方式でお米について説明しました。実際に本物の田んぼを見て、さらに去年の稲穂を見せると興味津々。初めて見た！という子が何人かいました。「ハスたんけん」ではハスの花・つぼみ・実・茎・葉と観察しました。そして、葉にペットボトルの水をかける実験もしました。水がはじかれて、コロコロと転がる様子に大人も子どもも盛り上がり、子どもたちは何度も水をかけては水が転がる様子を観察していました。「なんで、なんで？」と何度も水をかけたり、虫メガネで葉を観察したり、触ってみたり、何も言わなくても五感を使って調べている様子に感心しました。子どもの探求心が発揮されている瞬間はとても嬉しいですね。最後にロータス効果の説明をして、日常の生活の中に活かされていることも伝えました。

参加された親御さんから「こんなに楽しめる公園だって知らなかった。」「これからは眺めるだけでなく、子どもと一緒に匂いをかんだり、触ってみたりしてみます」などの言葉があり、自然とのふれあいのきっかけとしてとても有意義なものだと思いました。また、子どもたちからは「明日もやりたい！」「来年もやってくれる？」など嬉しいリクエストもありました。親子で自然体験を共有した夏のたんけんラリーが子どもたちの心に残ってくれることを願うばかりです。



虫たちは花でなにをしているの？

オオバコでスジだし競争・おすもう

虫を採って よく観てみよう！